

第62回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 録	日時	令和3年3月16日(火) 9:30~10:15	場所	議場
出席者	西岡市長、住野副市長、大熊教育長、天野企画財政部長、高橋庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、柿崎環境部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、若藤都市整備部長、藤本生涯学習部長、北村議会事務局長、鈴木庶務課長、梅原企画政策課長、廣田広報秘書課長、宮奈地域安全課長、加藤市民課長、穂山地域安全係長、石原新型コロナウイルス感染症対策担当課長、健康課主査			
付議事項	1 小金井市緊急対応方針に基づく進捗状況等について 2 新型コロナワクチンについて 小金井市医師会からのメッセージ 3 各部連絡事項			
資料	小金井市緊急対応方針の取組の進捗等について 小金井市緊急対応方針に基づく子ども家庭部の主な取り組み状況について 小金井市緊急対応方針に係る対応状況(生涯学習部) 新型コロナワクチンについて 新型コロナワクチン接種のお知らせ 小金井市内の指定医療機関・集団接種会場一覧 市内介護事業所における新型コロナウイルス感染症PCR検査陽性反応者の判明について(第5報・第6報)			
(進行:福祉保健部長) 【市長】 医師会や薬剤師会と体制をすすめているワクチンについてのメッセージも確認したところである。メディア情報も注視したい。東京都の警戒レベルは依然最高レベルである。変異株ウイルスも懸念される。18日国の諮問委員会において、緊急事態宣言が解除か再々延長か決定される。仮に解除されても蔓延防止措置等の感染拡大防止策の継続は引き続き必要である。 3月10日、保健センターにおいてワクチン接種のシミュレーションが行われ、医師会・薬剤師会・訪問看護・消防署・市の5者で参加いただいた。接種場面を想定した協力者に感謝申し上げたい。様々な課題が浮き彫りとなり、改善に取り組んでほしい。緑センター等、施設の確保にも尽力いただいている。 高齢者ワクチンも今後来る。4月からは医療従事者向けのワクチンが始まる。希望される方には接種できるよう進めていきたい。市の最優先事業としての認識である。 1 小金井市緊急対応方針に基づく進捗状況等について (企画政策課長) 資料説明 物品購入等については掲載していない。 (市長) 資料、第4弾PCR検査の状況は。 (福祉保健部長) 1回の補助である。事業所においては実施のタイミングをみていると思われる				

る。宣伝をしながら活用したい。案内は終了している。

(市長) 資料、第4弾学習支援及び学生の雇用機会支援について状況は。

(庶務課長) 記載のとおり、生徒のサポートや話相手である。決定したときは緊急事態宣言前だった。規模を縮小しながらもほとんどの学校で対応している。

(市長) 新生児特別定額給付金については、対象者全てに給付されているか？

(企画政策課長) 2月末現在、対象者758人中729人申請。未申請者には勸奨通知を送付している。

2 新型コロナワクチンについて 小金井市医師会からのメッセージ

(新型コロナウイルス感染症対策担当課長。以下「担当課長」とする。)

資料説明。医師会からメッセージをいただいた。本部会議終了後、ホームページにアップしたい。接種のおしらせは個別送付で行う。業者に委託し、4月中旬以降に郵送予定。裏面に集団会場、緑センターは確認してからの掲載となる。

ワクチンシミュレーションへのご協力に感謝申し上げます。画像は市ホームページにアップしている。今後の接種の流れを示す素材とする。緑センターは本日、医師会理事が現場確認し、会場の是非を判断する。関係団体への説明会も予定している。坂下会場は未定。南小体育館がどうか。

市内接種準備は4月26の週に1箱、高齢者ワクチンが届く。こちらは個別接種の病院で実施予定。先行実施内容をみて、基本型とサテライト型のワクチンやりとりを参考にする。集団は5月12日か13日から開始できる見込み。

(市長) 引き続き準備をお願いしたい。一般フェーズに移行してからの見通しは47医療機関か。

(担当課長) 高齢者向けのワクチンはマイナス75度のディープフリーザー保管のため管理のハードルが高い。他のワクチンも出てくれば、対応できる医療機関も47より増加する可能性ある。

(教育長) シミュレーションの写真は良く分かった。

(環境部長) チラシ掲載のワクチン接種は5月10日以降でよろしいか。

(担当課長) 集団はそのとおり。すぐにGWに入る。GW中の救急体制は不安が残る。個別接種もGW明けの見込み。

(市長) 今後、新年度に臨時議会(4月16日)等で緊急措置が必要となるか。ワクチンは最優先となる。

(担当課長) 予算については第1回定例会で即決いただいた。国から様々な情報が入るたびに、移送も変更となった。4月16日に補正が入るかもしれない。

(市長) 財政・議会事務局と調整を。

(担当課長) 桜町病院にディープフリーザーが設置された。個人で購入された医療機関も2箇所ある。ディープフリーザーがあることは＝サテライト型にワクチンを払い出す業務が発生する。市に代わり対応いただくので補助も必要かと思う。

(市長) 可決したい時期。専決も念頭か。連休前に別途必要か。

(総務部長) 議会構成が決まれば対応可能。

(福祉保健部長) 緑分館は接種体制が1レーンしか確保できない。そのため接種者数が伸びない。医師会が現場を見て、本日判断する。夏場に数字が上昇しなければ、南小や南センターも検討課題となる。ワクチンの遅延から現実味を帯びてきた。

3 各部連絡事項

(福祉保健部長) 介護事業所こころデイサービス東小金井におけるPCR陽性反応者発生。情報提供あり。別紙資料参照。適切に対応している。

(市民部) 経済対策について

(生涯学習部長) 18日に緊急事態宣言延長か否かの是非を政府が決定する。金曜日の夜には解除の情報をみながら市民周知を予定。

(総務部長) 職員へのお知らせはC-ナビとなる。

(副市長) ニュースが日替わりにも関わらず、対応を進めていることに感謝する。進行管理と情報分析をしっかりとお願いしたい。接種券を発送すると市民の問合せも増加すると思う。予測できる対策を今の内に検討いただきたい。

以上